

【定点把握対象感染症発生状況(定点医療機関あたり患者数)】

あかし保健所 保健予防課
感染症対策係 電話:078-918-5421

小児科定点(7医療機関)

疾病名称\週	2019年				
	34	35	36	37	38
RSウイルス感染症	2.71	6.71	4.43	3.86	3.43
咽頭結膜熱	1.00	0.29	0.71	0.14	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.00	0.71	0.29	1.14	0.29
感染性胃腸炎	3.29	4.00	3.86	4.29	2.57
水痘	0.29	0.00	0.43	0.43	0.43
手足口病	3.86	2.29	1.57	2.29	0.71
伝染性紅斑	0.71	1.86	1.57	0.86	0.29
突発性発しん	0.29	0.71	0.14	0.86	0.29
ヘルパンギーナ	0.00	0.14	0.00	0.00	0.14
流行性耳下腺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.43

インフルエンザ定点(11医療機関)

疾病名称\週	2019年				
	34	35	36	37	38
インフルエンザ	0.00	0.09	1.36	1.91	0.00

眼科定点(2医療機関)

疾病名称\週	2019年				
	34	35	36	37	38
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	2.00	0.50	0.00	0.00	0.00

※定点医療機関あたり患者数とは

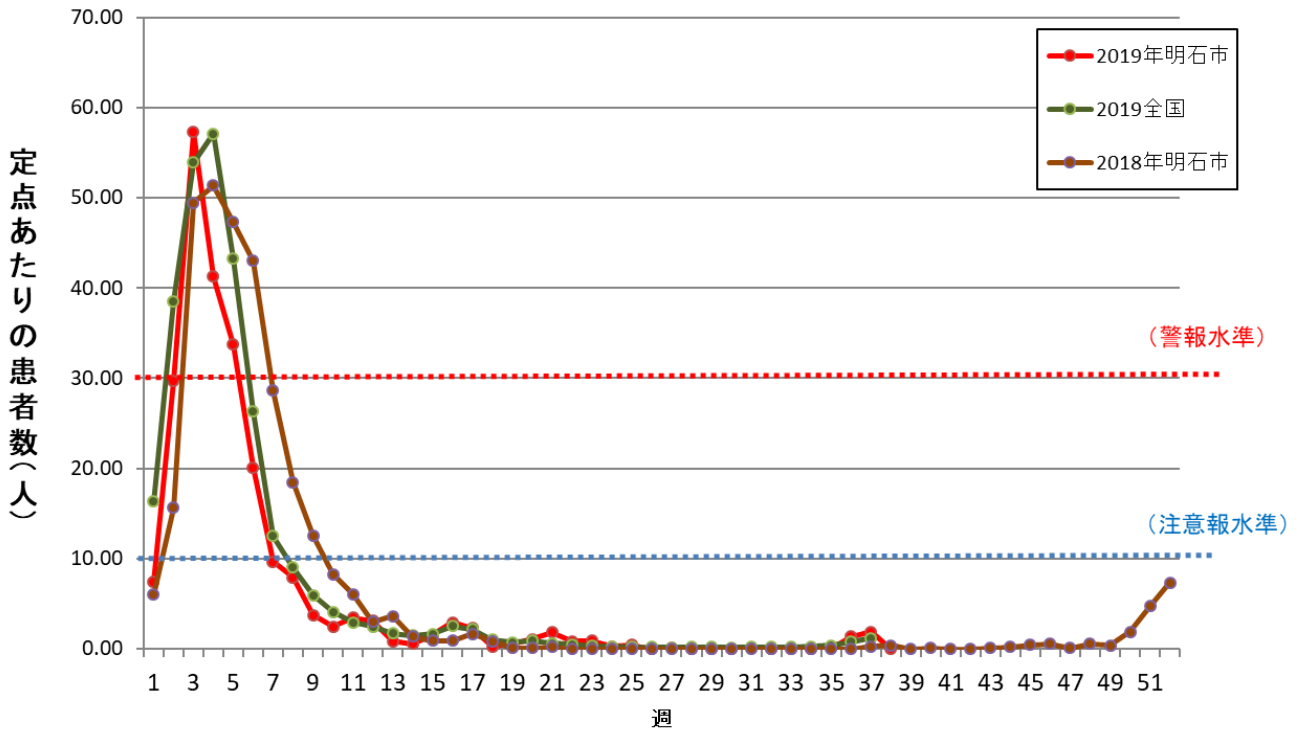
定点医療機関とは、保健所に一定の基準に従い、感染症の発生状況を報告してもらう医療機関のことです。

また、定点医療機関あたり患者数とは、一週間に一つの定点医療機関から、どのくらいの報告があったかを表す数値で、この数値によって各地での感染症の流行を把握することができます。

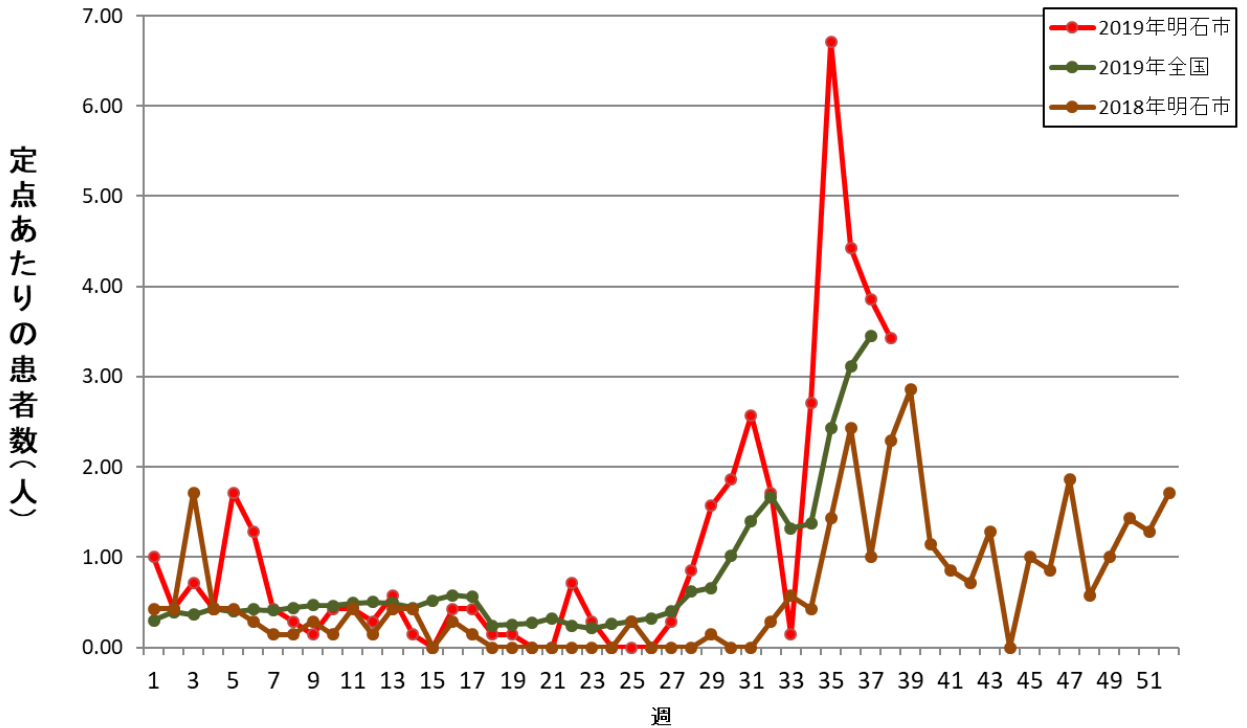
たとえば、あかし保健所管内で感染性胃腸炎の報告が合計20件あったとすると、定点医療機関あたりの患者数は、報告数(20件)をあかし保健所管内の定点医療機関数(7医療機関)で割り算をします。そうすると、定点医療機関あたりの患者数が計算できます。

この場合は、 $20 \div 7 = 2.86$ となります。

定点あたりのインフルエンザ患者報告数



定点あたりのRSウイルス患者報告数



あかし保健所管内 感染症発生動向調査(2019年第38週) 2019/9/16～2019/9/22

【全数把握対象感染症発生状況】

あかし保健所 保健予防課 感染症対策係
電話:078-918-5421

感染症分類	疾病名称\週	2017年	2018年	2019年					
				34	35	36	37	38	1週～累計
二類	結核	69	79		1	1		2	36
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	11	1	1				9
	細菌性赤痢		1						0
四類	E型肝炎		1						0
	デング熱		1						0
	日本紅斑熱		1						0
	レジオネラ症	3	12		1				4
五類	アメーバ赤痢	2	3						0
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎、E型肝炎を除く)	1	1						0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		2					1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	23					1	12
	水痘(入院例に限る)								1
	梅毒	8	11		1			1	10
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	5	2						2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	3						1
	後天性免疫不全症候群	1	2						1
	播種性クリプトコックス症	1	0						1
	百日咳※	-	3		1				12
	麻疹	2	1						1
	風しん		3	1					1

※百日咳は2018年1月1日から五類感染症の全数届出対象となりました。

この週報は速報性を重視しているため、報告数は確定した値ではありません。今後の調査などの結果に応じて、変更が生じることがありますが、ご了承ください。バックナンバーは明石市のホームページからご覧いただけます。

<https://www.city.akashi.lg.jp/hokensyo/h-yobou/kansen/kansenjyoho.html>

【社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況】

施設名称\週	2019年										
	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
保育所・ 認定こども園			1								
介護・老人 福祉関係施設											
障害関係施設											
その他施設											

インフルエンザに注意しましょう！

明石市内の定点医療機関あたりの患者数が、第38週に0.00人(第37週1.91人)と、前週と比べて減少していますが、明石市内では第37週までに小学校で学級閉鎖3件の報告がありました。例年12月～3月が流行シーズンで、今後患者数が増加する恐れがありますので、注意が必要です。

インフルエンザを予防する有効な方法

- ・外出後の手洗い等
- ・適度な湿度の保持
- ・十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ・人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザにかかったら

- ・人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう。
- ・咳やくしゃみ等の症状のある時は、家族や周りの方へうつさないように、飛沫感染対策としての咳エチケットを徹底しましょう。
- ・安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- ・水分を十分に補給しましょう。お茶でもスープでも飲みたいもので結構です。
- ・高熱が出る、呼吸が苦しいなど具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。